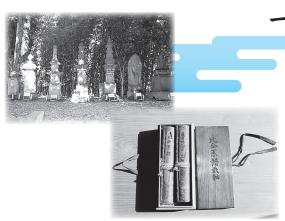


大河ドラマ「鎌倉殿の13人」比企市町村推進協議会広報リレー企画、1月は川島町です。ドラマ に登場する、比企一族の菩提寺のある金剛寺を紹介します。



▲比企氏代々の墓と系譜

一、比企氏と金剛寺

埼玉県比企郡川島町中山の金剛寺は真言宗智山 派、清月山元光院金剛寺と称し阿弥陀如来を本尊 としています。開山は不詳ですが、慶長年間左馬 助則員が中興したと伝えられています。この金剛 寺には貴重な比企氏の系図が伝えられており、境 内には比企家累代の墓地もあります。最も古い墓 石は15代則員、16代義久、17代重久、18代久 員とあり、以後飛び飛び現在に至ります。

二、比企家位牌堂「大日堂」

境内の東に位置する大日堂は比企一族 の位牌堂であり、その天井には見事な 「龍」が描かれています。この龍は田ん ぼに出て稲を食い荒らし、その被害はあ ちこちに広がったと言われています。や むを得ず龍を鎮める方法として、喉元に 杭を打ち込み、その杭を隠すために天蓋 を設置したと伝えられています。



▲大日堂と天井の龍

「かわべえ・かわみん」

2月は源範頼が幼少期を過ごした安楽寺(吉見観音)のある吉見町です。

武将の鑑といわれた 坂東武者

1月9日(日)放送開始の大河ドラマ「鎌倉殿の13人」に登場する重忠。 嵐山町ゆかりの武将がドラマでどのような活躍を魅せるのか。見逃せません。



畠山重忠ってどんな人?

重忠は源平争乱から鎌倉幕府設立にかけて活躍した武将です。その活躍から鎌倉幕府を開いた 源頼朝から厚い信頼を受け、幕府の重要人物となっていきます。頼朝の右腕とも言われる畠山重忠 とはどんな人物だったのでしょうか。

馬を背負って崖を下りる男

源義経の奇襲戦法として有名な、一の谷の 戦いでの「鵯越の逆落とし」では急峻な崖を 下りる愛馬「三日月」をかわいそうだと案じ、 背負って下りたと言われています。重忠の怪 カぶりと優しさを表すエピソードの1つです。

道徳の教科書に載る男

「吾妻鏡」等の記録に重忠は常に誠実で思 いやりがあり、怪力の持ち主、弓馬の道に優 れた人物として描かれています。その清廉潔 白な人柄が戦前の修身(現在の道徳)の教科 書にも記されたほどでした。

注目ポイント

重忠の最期 ~権力争いの末に~

頼朝の死後、子の頼家の後事を託されるほ ど重忠は幕府にとっての重要人物となってい きました。しかし、幕府権力を握ろうとする 北条時政の謀略により重忠は討ち取られてし まいます。

その非業の死はドラマでどのように描かれ るのでしょうか。

菅谷館跡

重忠が構え住んだとされる館跡。北条時政 の謀略により呼び出された重忠はこの菅谷館 から鎌倉へ出立。その途中、北条氏らの大軍 の待ち伏せにあい、討たれます。

この出立シーンで菅谷館がド ラマで登場するのか注目しま



街川ッジ発売中川



「木曽義仲」「山吹姫」に 続き、「畠山重忠」の缶バッ ジ発売中です。

大河ドラマ登場記念にぜ ひお買い求めください。

販売場所

ステーションプラザ嵐なび (武蔵嵐山駅西口)

価格 500円 (税込)



問合せ 地域支援課 ☎62-2152

広報嵐山 2022. 1 広報嵐山 2022. 1